

科目名	母性看護方法 I (ライフサイクル各期の看護) Maternity Nursing I		担当教員 (研究室番号)	渡邊 聰子 (102) 大平 肇子 (104) 杉山 泰子 (103) 岩田 朋美 (101) 市川 陽子 (105) 辻 まどか (105)	教員への連絡方法 (メールアドレス)							
履修年次	2年次 後期	科目区分	専門科目・生涯看護学		選択区分	必修	単位数 (時間)	1(15)	授業形態 演習			
	科 目 等 履修生 オーフンクラス 否											
科目目的	女性の一生涯における健康を支援するために、思春期→成熟期→更年期→老年期の各ライフステージにおける母性の特性を理解する。また、リプロダクティブヘルスおよびヘルスプロモーションの視点から、各時期における対象の健康保持・増進、疾病の予防、健康への回復の過程における看護について学ぶ。											
テクノロジー ・リソース (DP)	主要なDP	E 地域社会に暮らす人々の生活支援において必要となる情報を分析し、健康課題を解決するための方策を考えることができる。 (思考・判断)										
	関連するDP	C 多様な考え方や文化的背景を持つ人々の特徴に応じて、自らの看護活動の必要性や方法を説明するためのコミュニケーション能力を有している。 (技能・表現) D 様々な職種との連携において、看護専門職者としての役割を理解し、多職種による協働活動に参加できる。 (技能・表現)										
到達目標	1. 女性のライフサイクルの特徴を述べることができる 2. 女性の各ライフステージにおける身体的・心理的・社会的特徴を述べることができる 3. 女性の各ライフステージにおける健康課題を述べることができる 4. 女性の各ライフステージにおける看護方法について討議することができる											
成績評価方法 (基準)	筆記試験 (70%)、レポート課題 (15%)、演習への参加度・取り組み (15%)											
再試験の有無と 基準等	有：不合格となった者全員を有資格とする。 再試験は筆記試験とし、レポート課題の成績は再試験の評価に加味しない。											
教科書	系統看護学講座 専門分野 II 母性看護学概論 母性看護学 I (医学書院)											
参考書等	適宜、紹介します。											
学生の主体性を伸ばす ための教育方法と学生 への期待	学びを深めるためには、物事に対して疑問をもち、批判的思考を養うことが必要です。時代や文化に影響されやすい女性の健康課題について、興味・関心を持って学習に取り組むことを期待しています。グループディスカッションでは、活発な意見交換ができるよう、メンバーとしての自覚を持ち、主体的に参加してください。											
備考	母性看護学概論の単位認定が受講の前提となります。母性看護方法 II の先修条件となります。											
回	学習項目	学習内容						主担当教員	授業方法			
1回	女性のライフサイクルにおける健康	・女性のライフサイクルにおける形態・機能の変化、健康問題について学ぶ。 ・リプロダクティブヘルス/ライツ、プレコンセプショナルヘルス、およびヘルスプロモーションの視点から、女性のライフサイクルを通した看護について考える。						渡邊	講義演習			
2回	思春期・成熟期における健康課題と看護	・思春期・成熟期女性の特徴の理解をとおして、各期の健康課題について学ぶ。 ・思春期における第二次性徴や月経異常、望まない妊娠予防など、成熟期における遺伝相談や生殖器疾患などの看護について学ぶ。 ・女性の健康とワーク・ライフバランスについて学ぶ。						渡邊	講義演習			
3回	更年期・老年期における健康課題と看護	・更年期・老年期女性の特徴の理解をとおして、各期の健康課題について学ぶ。 ・更年期症状や障害、更年期・老年期のセクシュアリティなどの看護について学ぶ。						渡邊	講義演習			
4回	リプロダクティブ・ヘルスケア①	・性機能と性行動について学ぶ。 ・性感染症と予防について学ぶ。 ・各ライフサイクルにおける家族計画と受胎調節、性感染症とその予防を学ぶ。 ・セクシュアルヘルスのための健康教育の在り方を考える。						渡邊	講義演習			
5回	リプロダクティブ・ヘルスケア②	・災害時における女性の健康上の問題および看護援助について学ぶ。 ・災害とジェンダー、災害時における看護の役割について考える。						渡邊	講義演習			
6回	リプロダクティブ・ヘルスケア③	・子ども虐待の現状、子どもへの影響および対策について学ぶ。 ・子ども虐待の予防のための看護および多職種連携について学ぶ。						渡邊	講義演習			
7回	リプロダクティブ・ヘルスケア④	・女性に対する暴力の実態を理解し、ヘルスケアにおける看護および多職種との連携について学ぶ。 ・女性の意思決定を支える看護について考察する。						杉山	講義演習			
8回	リプロダクティブ・ヘルスに関する課題 多様な社会における母性看護学の役割	・各自の事前学習をもとに、リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する課題についてグループ討議を通して学ぶ。						渡邊	演習			

学習課題
1回目課題（事前）：母性看護学概論で学習した理論についての復習する
1~7回目課題（事後）：webclassの小テストにより知識を確認する
8回目課題（事前）：1回目の授業時にレポート課題を提示する。期日までに提出する。このレポートをもとに、8回目のグループ討議を行う。
8回目課題（事後）：グループ討議の内容をふまえて、最終レポートを個人で作成し提出する

実務経験を活かした教育の取組
・担当教員全員は、看護職として実務経験がある。看護の実践及び教育・研究活動を行っており、その経験を活かして本授業の講義及び演習を行う。